

そう思うと気持ちが暗くなる

藤谷と このごろ、授業中 将棋をしている。

紙に将棋盤を書き、駒を鉛筆で書いては、
けしゴムで消して、授業中、紙をまわし合っている。

席が 離れているが、皆、関心あって、
真面目な顔で、途中経過を観察する。

「うん、なるほど。」と言った顔して、
紙を藤谷と僕の間を、手渡しで、配送してくれる。

月曜から四回戦目、やっと結末がつき、
今回は 僕の負けで、両者二勝二負である。

一時間（国語）が抜けて、今日は 六時間。

放課後、図書室へ行き、本を眺める。

学校の勉強をする気持ちにならない。

気持ちは 高校よりも
大学の自然科学の資料に目が行く。

こちらの方が、むずかしそうだが、
おもしろそう、純科学だ。

大学受験なんて、打算的な、
よこしまなムードが全くない。

僕は自由に自分の好きな科目の勉強をしたい。

帰り、関野の傘をあやまって

僕の傘と間違えて 持って 学校を出る。